

# 白子神社だより

令和七年 春 第十六号

巳年の正月 大いじりまつり

令和七年は、巳年です。白い蛇にゆかりのある白子神社の年です。

いつもの年より多くの初詣の方が神社にお出でいただけるのではないかと期待して迎えた正月でしたが、予想をはるかに超える人出でした。

正月三日、地元白子町の皆さんからは神社に行ってもお参りできない。出直そうと言う方が多かったとも聞いています。

大変申し訳ありませんでした。はつきりしたことは言えませんが、宮司の受けた印象では、例年の二倍だったと思っています。

拝殿前には長い長い行列ができました。どんどん長くなり、南の鳥居をこえて神社の西側を流れる南白亀川にかかる宮後橋にまで達しました。橋の中央付近まで並んでいたかったです。大変申し訳ないことと同時に有難いことだとも思いました。初詣の神社として選んでいただけことは大変嬉しいことです。

皆さんに深くお礼申し上げます。有難うございました。

宮司 宮田 修  
電話 0475 33 3124  
白子神社社務所発行



## 白蛇に長い列

東金市で白蛇をペットとして飼育している方に協力をしていただき神社ゆかりの白蛇を展示しました。アカダイショウと言う種類の蛇で長さは一米ートル三五センチの大きな蛇です。蛇は寒い冬は苦手ですので特製の大きな展示用の箱を用意しました。カーペットを敷き、保温のためのヒーターも入れました。

「白蛇」は珍しいですね。一時五、六〇メートルの列ができました。皆さんスマホで写真をとっておられました。

神社の今年のキャッチフレーズは

### 白蛇招福

皆さんに幸せが訪れますようお祈りしました。



## 本殿修復奉賛会 本格始動

今から二百六十年前に作られ最近痛みが目立つようになったご本殿を修復するため神社一体となって取り組んでいます。

すでに社務所の授与所では受付が始まり、これまでに四百人を超える人が協力してくださいました。

奉賛会の事務局が活動を始めておりますので新年度が始まるのに合わせて本格的に奉賛金を集める活動が始まります。

白子町にはさまざまな施設がありますが、千年前からあるものはおそらく神社だけでしょう。

これから千年続けることができるよう今を生きる我々が努めなくてはならないと考えます。

皆さんのご協力を宜しくお願いいたします。

この氏子の皆さんに具体的にどのような協力いただくかはまだ決まっております。奉賛会事務局で検討していただき神社の最高意思決定機関の責任役員会議を経てお諮りいたします。



## ご協賛 100件をいえる

今年の節分は、二月二日でした。今年も小さな幸せ授けますを合言葉に町内外の皆さんにご協賛をお願いしました。

有難いことに今年は百件をこえました。ネギやトマト、サツマイモ、米などの農産品、食事券、温泉の入浴券、現金をお寄せいただいた方もあります。心のこもった景品が集まりました。

ご協賛いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。



例年心配なのが天気です。今年は二、三日前の予報では、雨でした。雨の中で豆まきをするわけにはいきません。どうしようか氏子総代の皆さんと協議を重ね

ね、準備を進めました。

豆まきは、午後三時から午後七時からです。心配しながら当日を迎えました。何というこでしようか。午後二時ごろに雨は止んだのです。

予定通り豆まきをすることができました。

皆さまに深く感謝しました。

### 若者4人元気に豆まき

今年の豆の撒き手は四人の若者が中心でした。彼らはかつて白子神社で正月を中心にお手伝いをしてくれた人たちです。

今は、立派な社会人になっていきます。伸び盛りの若者から福をもらってほしいと企画しました。四人は、それぞれ消防士、美容師、パイロット、大工になっています。そして嬉しいことに今なお神社を訪ねてくれるのです。

四人のうちの一人大工になった久我佳乃さんに豆まきの感想を聞きました。

高校時代の3年間、正月を中心に白子神社で巫女を体験しました。

それまでまったく知らない世界でしたのでとても興味がわきました。また神社のこともまったく言うって良いほど知りませんでした。何でもとても良い経験になりました。何

よりたくさんの人と触れ合うことができたのはとても楽しかったです。

そしてこの度は、節分の豆まきにお声をかけていただき深く感謝しております。なかなかできないことです。たくさんの人たちが笑顔で楽しそうに参加されていました。その笑顔を見ているこちらも嬉しく、楽しい思いをすることができました。

大工の修業をしています。白子町

### 神社面白話 大麻を知っていますか

大麻ーたいま? いえ「たいま」とは読みません。「おおめさ」と読みます。皆さんよくご存知のものです。神社でお祓いを受ける時に神職が左右左と動かす昔掃除に使ったハタキを大きくしたような形をしたものです。修業を始めたばかりの頃、この神職ゆかりの道具の名前が大麻と書くことを知り、ビックリしました。

お祓いをする道具です。我われは日々の暮らしの中で知らず知らずのうちに邪ま(よこしま)な考えをもつようになってしまいがちです。人間ですから仕方がないことかもしれません。神さまに何かお願いごとをする時には邪まであってはいけません。そこで御祈願の前に良い人に戻ってもらうのです。左右左と大麻を振ることによって、いわばソロバンのご和算で願いましてはと言うようにこれまでのことをすべて消し去って良い人に戻ります。そして神さまにお願いごとをするのです。神さまは良い人の願いでなければ聞いてくださいません。大麻ー大切な道具なのです。



株式会社 TK base house

久我佳乃さん

のためますます頑張りたいと思っています。有難うございました。